

紀学体育同窓会の総会

去る、10月2日（土）午後1時30分から紀学体育同窓会の総会が和歌山市紀三井寺



「ガーデンホテルはやし」で行われた。

谷口（2期卒）会長から挨拶があり、引き続き、顧問の家崎教授（在職期間1954年～92年、2009年授勲）にご挨拶を戴いた。

続いて、松本（9期卒）理事長から次のような経緯説明があった。

「紀学体育同窓会は昭和35年頃には、県教育委員会と主に高校の教員での集まりとしていました。昭和46年の和歌山国体以後活動は停滞化し、平成11年に笠松勇次教授（在職期間1949年～86年）の授勲を契機に高校教員以外に和歌山大学教育学部で保健体育を専攻した卒業生を対象とした会の活動にと、平成12年1月に紀学体育同窓会会則づくり、役員を選出し、会員名簿を作成、年1回の総会を目標に活動してきました平成15年8月9日の総会（ガーデンホテルはやし）では34名出席、平成21年9月5日の総会（和歌山大学）には28名の参加者でした。年会費（3000円）の納入も微量で、全会員にご案内を差し上げることは困難と考え、世話人の方々のみに案内文を送付した。」

世話人のみの参加であったので、総会への参加者は17名と前回より少なかった。

次年度からは9月の第一週の土曜日に総会を開くことを決め、多くの会員に周知すると言うことになった。



その後、和歌山県教委学校体育局健康体育課学校体育班の川畑（38期卒）先生より「和歌山県児童生徒の体力について」と言う演題で、和歌山県児童生徒の体力の状況、体力向上に向けた具体的な取り組みについて発表があった。質疑応答の時間が取れなかったが、和歌山県の現状が理解できたすばらしい発表であった。

次回からは多くの会員が集まることを期待し、紀学体育同窓会の総会を終了した。



総会の後、懇親会があり、個々の現在の様子などを紹介しあった。さすが、保健体育を専攻した仲間、話の端々に健康管理に留意していること等が紹介され、有意義な懇親会であった。